

淀川区教育行政連絡会「中学校の部」議事要旨

日 時 平成 30 年 11 月 12 日（月）15:00～16:25

場 所 淀川区役所 5 階 504 会議室

出席者 学校長：三国 十三 東三国 美津島 宮原 新北野

区役所：淀川区担当教育次長（区長） 淀川区担当教育部長（副区長）

淀川区教育担当課長 淀川区教育担当課長代理

教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長

教育委員会事務局総務部教育政策課担当係員

傍 聴：0 人

- | | |
|--------|---|
| 資料 1 | 次年度に向けた検討状況
～淀川区教育支援関係事業にかかる主な変更～ |
| 資料 2 | 平成 30 年度学校協議会委員研修アンケート集約 |
| 資料 3－1 | 区内教育行政に関するアンケート |
| 資料 3－2 | 市政改革に関するアンケート |
| 資料 4 | 子ども見守り放送に関して区に寄せられたご意見 |
| 資料 5 | 平成 30 年度「学校安心ルール」の HP 掲載状況 |
| 資料 6 | 「第 3 次淀川区生涯学習推進計画（案）」に対するパブリック・コメントを
実施します |
| チラシ | 淀川区生涯学習フェスティバル 2018 |
| 追加資料 | 学校と保護者の連絡方法について |

【次第】

司会：淀川区教育担当課長

◎淀川区担当教育次長（区長）あいさつ

◎議題

- 《1 学校と保護者の連絡方法について》【公開】
- 《2 ヨドネルについて》【公開】
- 《3 淀川漢字名人育成計画について》【公開】
- 《4 次年度に向けた検討状況について》【公開】
- 《5 分権型教育行政にかかる情報提供》【公開】
- 《6 その他》【公開】

・各議題について意見交換

議題1 学校と保護者の連絡方法について

(区より説明)

・地震、大雨、台風などの変災時における学校と保護者の連絡方法について、今年はマスコミからの指摘や保護者から問い合わせがいろいろあったことを受け、議題とさせていただいた。また、区内小学校の保護者からなかなか電話連絡がつかないとの苦情も出ている。自動音声装置の導入が影響している可能性もあるが、中学校の保護者から電話が通じにくいといった声が寄せられていないかお伺いしたい。

(意見交換)

○特に苦情やトラブルはない。

○通常は2回線しかないところ、今年の変災時には3回線使用させていただいた。変災時に限っては3回線あると非常にありがたい。

○3回線あっても8時までは電話を取ることができない。8時になると一斉に電話がつながるので、時間帯によって混み合うのはどこの学校も同じ状況だ。通じない場合は、後から電話をかけてくれるなど、事情はある程度理解していただいているものと認識している。

○保護者メールを活用しているが、学校のシステムから送信することがしんどい。その点、「はなまる連絡帳」は通勤途中でも自分の携帯から保護者に直接メールを送信できる。ただ、「はなまる連絡帳」の問題点は、保護者が登録しないとメールが届かないことだ。全員強制的に登録してもらおうというものではない。

○土日の部活動で外に生徒を連れて出る時に連絡する術がないため、安全確保をどうするかが心配だ。

○部活動の緊急時や当日の急な休みなどには、部活動の友だちを通じて連絡したり、それができない場合は、顧問が個人の携帯の電話番号を教えて直接連絡が入るようにしている。

⇒区より

主に小学校で問題になっている事項として情報提供させていただいたが、今お伺いした中学校の状況を小学校にも情報共有させていただく。

議題2 ヨドネルについて

(区より説明)

・区民との会議等の中で保護者の方々から、「睡眠強調週間」を設定してはどうかという提案があった。3月19日を眠育の日として睡眠を大切にしている団体がすでに設定している。淀川区では「ヨドネル宣言」をしているが、睡眠の日等を設定していないので、設定してみてもどうかというご提案に対する先生方のご意見、印象をお伺いしたい。

・区としては広報と講演会の二本立てで考えている。例えば、現在すでに小学校でもやっているような睡眠カードや生活習慣カードを重点的に実施したり、壁新聞を貼るなど。また、その期間は重点的に保護者へ子どもたちの睡眠についてよく考えてほしいとかスマホをその期間はできる限り使用しないよう保護者に働きかけるなどのイメージだ。ただ、受験を控えた中学3年生についてはテスト期間など、別途考慮すべきだと心得ている。

・広報誌「よどマガ!」に睡眠週間の設定をうたい、小学生は〇時～、中学生は〇時～寝ましようとして再度周知、保護者のみなさまにも子どもたちが早く寝よう働きかけてもらい、その期間に水野先生やその

他睡眠の専門家に講演会を開催してもらうなどの広報を考えている。現時点では申しあげにくいですが、将来的には民間企業とタイアップして民間企業の取り組みを発信していくことも検討している。

（意見交換）

- 10 月中旬に睡眠週間を設定し、眠育として睡眠週間を生活週間に結び付けて実践している。この取り組みを始めて3年目になる今年は生徒たちにもかなり定着してきており、アンケートによれば睡眠の大切さや眠育への理解が6割を超すなど、かなり高い肯定的回答を得ている状況だ。
- 単発で生徒会が呼びかけることはやっているものの、まとまって1週間の設定は難しい。
- これまで赴任してきた他区と比較しても、淀川区の子どもたちはしっかり寝ているという印象がある。
- 睡眠の時間も大切だが、質についても集会で話すようにしている。寝床に入ってもスマホばかり見ていたら、脳が休まらず、しっかり寝ることができないため、翌朝の食欲にも悪影響を及ぼすと。
- 広報への協力であれば、そんなに難しくはないと思う。ただ、その週間だけ寝ればよいというものではないので、その期間を利用して広く科学的なことを知ることは必要かなと思う。
- 北中島小学校で昼寝をしていると聞く。中学校で取組んでいる学校は聞いたことがない。昼寝を取り入れている企業はある。タイアップする企業にお昼寝枕のようなものを提案してもらえるとよい。昼寝がどれだけ効果があるかも教えてほしい。
- ⇒区より
昼寝し過ぎると夜に寝られなくなることは経験則上はわかっているが、昼寝と体の具合との関係について科学的に解明されていないのが実態だ。
- 保健委員が睡眠について調査した結果、圧倒的に女子が寝ていない実態があるが、原因は携帯だと思う。

議題3 淀川漢字名人育成計画について

（区より説明）

- ・中学校の先生方のご希望があれば、淀川漢字名人育成計画にかかる予算を使って全生徒を対象に区役所を会場として漢字検定を受検できるよう受検日を設定していきたい。今から設定できる受検日は2月3日（日）だが、いかがか。
- ・会場は区役所だが、問題漏洩を防ぐため、受検の時間帯は個人受検の場合の一般会場と同じ取扱いだ。区役所までの交通費は個人負担でお願いする。
- ・区役所を会場とした場合、一度に200名程度受検できそうな見込みだが、応募者が多ければ区での抽選を考えている。

（意見交換）

- 学校で受検した子も受検できるのか。
- ⇒区より
各校で受検対象とした学年以外の子も受検可能だ。
- 学校で実施した時は合格率が低かったが、チャレンジ精神のある子は受検すると思う。良い機会だ。生徒も喜ぶ。

○一般申込は11月1日からすでに申込を開始しているので、既に個人で申込んでいるかもしれない。12月25日が終業式なので、その前の週の21日までに抽選の結果を知らせたい。早く決めていただくとありがたい。

○日程さえ決めてもらえば、終業式までに抽選の結果を知らせ、抽選に外れた子は個人で申込むよう伝える。

⇒区より

2月3日の受検実施に向けて進めていきたい。

議題4 次年度事業に向けた検討状況について

(区より説明)

- ・漢字名人育成計画について、中学生の受検は来年度も予算要求しており、小学校でも5年生を対象に事業展開を考えている。
- ・英語交流事業について、English Festival 参加者のアンケート結果から、英語スピーチコンテストや英語暗唱大会がなくなったことは寂しいという意見を受け、来年度は午前中にそのようなものができるか、また、午後にEnglish Festivalを実施するという方向で検討している。現在は小学校低学年の参加がほとんどだが、今後は中学生にも参加していただけるようなプログラムを考えていきたい。
- ・人権啓発推進事業について、小学校からの要望を受け、自尊心感情の育成に沿った学習会を学校で実施する際に、区で講師報酬の一部負担を考えている。中学校で同様の取り組みをされる場合は、「淀川区大志育成プロジェクト」事業としてお申し込みいただければ、区で講師報酬の一部負担が出来るので、ご検討いただきたい。
- ・ヨドネルについて、中学生の場合は睡眠の質を高める取り組みをやっていかばどうかという保護者からのご意見があった。来年度は予算を増額し、民間事業者との連携を模索しながら、水野先生監修による紙媒体の啓発物を作り、食事や睡眠の時間帯、入眠時の環境などについて情報発信していく。

(意見交換)

○人権啓発推進事業という学習会とは学校で計画し、講師を招聘するのか。講師に対する要件はあるか。

⇒区より

計画等は学校でお願いしたい。大学の教授でないといけないなどの要件はない。アスリートや、ある研究に情熱を注いでいる方などを呼んで体験談を語っていただいたりするのもよい。

○漢検について、来年度はどの学年が受検してもよいか。

⇒区より

今年度と同様に、学校で受検する学年を決めていただく。

議題5 分権型教育行政にかかる情報提供

(1) 学校協議会委員研修について

(区より説明)

- ・10月5日と6日に学校協議会委員研修を実施した。わかりやすかった等の好評をいただいたが、内容が多岐にわたり難しいというご意見もあったので、次年度以降の課題としたい。

（２）アンケートの実施について

（区より説明）

- ・教育委員会より区内の教育行政に関するアンケートを、市政改革室からは市政改革に関するアンケートをとるよう指示が出されているので、予め情報提供させていただく。年度末にご協力をお願いする。

（３）子ども見守り放送について

（区より説明）

- ・防災用のスピーカーから夕方４時５０分に放送を流している。小学校の校長会からの要望で子どもの安全を守るために実施しているが、賛否両論のご意見をいただいております、情報提供させていただく。

（意見交換）

- スピーカーの向きが変わらないから、高い所でマンションの２～３階であれば、丸々そこに向けて音が聞こえるのだろう。
- 聞こえないと意味がない。

（４）学校安心ルールのHP掲載状況について

（区より説明）

- ・保護者の方から自分の学校の安心ルールはわかるが、他の学校の安心ルールも知りたいというご意見があり、急遽学校へ連絡し、HPに掲載をお願いしてきた。現時点ではほぼすべての学校で掲載していただき、お手数をおかけした。ご協力いただき、ありがたい。
- ・小学校では保護者から、このルールがあるのにルールに基づいて指導しないのかと指摘されることもあり、学校側があくまでモデルケースである旨説明し、ご納得いただいていると聞く。

（意見交換）

- 中学校には元々、考え方としてはあったが、小学校にはないから知りたいというご意見が出たのかもしれない。
- 保護者に長い間配っているが、何か言われたことも適用したこともない。
- こうなったら次はこうなるというように、予防的に使っている。

（５）「第３次淀川区生涯学習推進計画（案）」にかかるパブリック・コメントについて

（区より説明）

- ・１１月１日から第３次淀川区生涯学習推進計画に対するパブリック・コメントを募集しており、１１月末に集約後、１２月に関係会議開催のうえ、最終的な計画を決定していく。お時間のある時にぜひご覧いただきたい。

（６）「淀川区生涯学習フェスティバル 2018」のお知らせ

（区より説明）

- ・１２月２日に生涯学習フェスティバルを開催する。すでに学校にチラシを送付しているので、掲示をお

お願いしたい。

(7) 絵本展「ものがたりのちから」開催のお知らせ

(区より説明)

- ・「ものがたりのちから」を毎年実施している。チラシは今月中にできあがる予定なので、学校でチラシ・ポスターの掲示をお願いしたい。

議題6 その他

(区より説明)

【ヨドジュク】

- ・ヨドジュクについて「よどマガ！」12月号で広報予定である。未定稿のため、取扱いに注意願いたい。
12月26日と27日に各2コマ、区役所会議室を使い、契約事業者の協力を得て無料体験会と塾代助成カードの説明を行う予定。対象は小学校6年生から中学校2年生で各日40名まで先着順で受付ける。

【英語専科教員】

- ・英語専科教員が教育委員会で募集されており、大阪市で10名のうち1名が現在、新北野中にいらっしやると聞いている。英語専科の先生は中学校にいて、校下の小学校に行って教えていただけるとのことと、小学校の先生からは非常に助かるとのお話があった。中学校でもぜひエントリーしていただけるとありがたい。

(意見交換)

○英語専科教員がいるが、中学校に籍はあるものの、毎週決まった曜日に小学校に行く。

○淀川区で英語に特化した小学生向けのサポーターを雇うことはできないのか。

⇒区より

検討は可能だ。区に要望いただいたら実現に向けて真剣に検討していきたい。ただ、教育委員会で対応している同一メニューは区で出来ないことになっているので、難しいかもしれない。このお話を小学校の先生に投げかけ、要望があるなら今後区で検討していきたい。1年間議論して次の年の予算化について考えていきたい。

○これ以上、小学校の先生の負担になることを避けないと、小学校の先生の成り手がなくなる。その点、支援員の存在は小学校にとって大きな助けとなる。

【高校入試説明会】

- ・保護者の方々からPTAで淀川区でも高校入試説明会ができないかとの話が出ており、区役所の協力をお願いしたいと言われている。なお、PTAでも、すぐに実現するとは思っておられないようだ。中学校の先生のお考えはいかがか。

(意見交換)

○高校入試説明会を毎年やろうとなると、運営が大変だと思う。一度やり出したらなかなかやめられない。

【その他】

○先週の新聞報道で、府の教育庁が学校へのスマホ持込を認めるといった記事が出た。変災時にすぐに

対応できるようにというのが大きな目的で、持込や運用方法については市町村の教育委員会に任せるか、もしくは学校長に任せるといった内容だ。もし任されるなら、淀川区では全面的に反対してほしい。なぜなら必ず写真を撮ったり、授業中に LINE をしたりするからだ。学校が預かって紛失・火災などを起こした場合、相当の損失額を抱えることが想定されるので、学校では絶対に対応できない。区長から教育委員会に伝えてほしい。

⇒区より

いただいたご意見はすべて教育委員会に伝えていく。

○小学校のプログラミング教育について一向に話題がないが、小学校からそういった要望はないのか。

⇒区より

困っているとは聞くが、具体的な要望としては聞いていない。

○区独自に、プログラミング教育や自尊心感情に関して人材バンクのようなものを持っておられるのか。

⇒区より

以前試みたが、学校と区とでマッチングがうまくいかなかったので、今はニーズがある学校から区へ言えば、区の HP や広報誌「よどマガ！」に掲載し募集するという方法に変更し、申込者は直接学校に行き、学校で判断してもらうようにしている。

○ヨドジュクについて、受講生が上履きのまま廊下に出てトイレに行くことがある。今一度ルールを徹底していただきたい。

⇒区より

業者に連絡し、きちんと対応させていただく。

本日いただいた内容は、区の課題として検討し、必要に応じて教育委員会にも伝達していく。